

2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 敏夫 TEL 052-769-1150
 定時株主総会開催予定日 2024年8月23日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年8月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の連結業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	24,799	△1.9	△915	-	△934	-	△1,144	-
2023年5月期	25,282	△5.5	146	△58.4	151	△64.1	23	324.4

(注) 包括利益 2024年5月期 △1,154百万円 (-%) 2023年5月期 △2百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	△161.24	-	△16.6	△4.0	△3.7
2023年5月期	△12.26	-	0.3	0.6	0.5

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 -百万円 2023年5月期 -百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	22,913	6,222	27.1	584.81
2023年5月期	23,514	7,496	31.8	747.03

(参考) 自己資本 2024年5月期 6,206百万円 2023年5月期 7,480百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	△936	△406	△341	2,306
2023年5月期	△53	△158	△863	3,991

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年5月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,221	9.8	253	-	204	-	38	-	△10.39

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年5月期	7,861,700株	2023年5月期	7,861,700株
2024年5月期	18,401株	2023年5月期	16,001株
2024年5月期	7,844,134株	2023年5月期	7,846,814株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料4ページ「（4）今後の見通し」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	80,000.00	80,000.00
2024年5月期	—	0.00	—	80,000.00	80,000.00
2025年5月期（予想）	—	0.00	—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年6月1日～2024年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復することが期待されますが、世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続いております。

小売業界におきましては、国際航空便の増便や円安進行による訪日外国人観光客の増加に伴い、国内消費は堅調に推移しておりますが、その一方で、食品・生活必需品等の値上げが続いており、物価上昇による実質賃金が低下している状況では、消費者の生活防衛意識が一層高まり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは店舗・POPUP・オンラインの3つの事業を柱として、スタッフ一人一人の個性を融合し、お客様の知的好奇心に寄り添うヴィレッジヴァンガードらしい売場や企画の展開を通じて企業価値の向上に取り組んで参りました。

このような事業活動の結果、当連結会計年度の売上高につきましては、24,799百万円と前連結会計年度と比べ482百万円の減収（1.9%減）となりました。売上総利益につきましては、売上高の減少が影響し、9,680百万円と前連結会計年度と比べ767百万円の減益（7.3%減）となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は915百万円と前連結会計年度と比べ1,061百万円の減益、経常損失は934百万円と前連結会計年度と比べ1,086百万円の減益、親会社株主に帰属する当期純損失は1,144百万円と前連結会計年度と比べ1,168百万円の減益となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

① ヴィレッジヴァンガード

ヴィレッジヴァンガードは、お客様にお買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

店舗事業では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。主な業態店舗としては、「遊べる本屋」から「コト」も含め取扱分野を広げた「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

POPUP事業では期間限定でここでしか手に入らないオリジナルコラボ商品を中心としたSPICE・アパレル等を展開しております。

オンライン事業では日本国内でSPICE・ニューメディアを中心にクリエイター様やアーティスト様とのコラボ商品等、オリジナル性の高い商品を多数取り扱っております。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は24,799百万円と前連結会計年度と比べ482百万円の減収（1.9%減）となりました。売上総利益につきましては、売上高の減少が影響し、9,680百万円と前連結会計年度と比べ767百万円の減益（7.3%減）となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は914百万円と前連結会計年度と比べ1061百万円の減益となりました。

当社グループの当連結会計年度末の店舗数は、直営店10店舗出店し、直営店9店舗を閉鎖したことにより、直営店304店舗、FC店4店舗の合計308店舗となりました。

② その他

当社グループには海外事業として海外子会社が2社ありますが、比利緹卡（上海）商貿有限公司につきましては2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖しております。順次、会社清算へ向けた手続きを進めてまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、20,195百万円となりました。これは、現金及び預金が1,684百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、2,718百万円となりました。これは、建物付属設備（純額）が11百万円、ソフトウェアが31百万円、資産除去債務が17百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、22,913百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、8,470百万円となりました。これは、買掛金が935百万円、一年内償還社債が155百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、8,220百万円となりました。これは、社債が112百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、16,691百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,274百万円減少し、6,222百万円となりました。これは、利益剰余金が1,264百万円減少したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,684百万円減少し、当連結会計年度末には2,306百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は936百万円（前連結会計年度は53百万円の支出）となりました。これは、仕入債務の増加額935百万円があったものの、税金等調整前当期純損失1,094百万円、棚卸資産の増加額1,217百万円があったためであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は406百万円（前連結会計年度は158百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出217百万円があったためであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は341百万円（前連結会計年度は863百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入れによる収入3,190百万円があったものの、長期借入金の返済による支出3,368百万円があったためであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復することが期待されますが、世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う海外景気の下振れ等により、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続くと見込まれます。

当社グループは、以下の3つの事業目標を柱として、スタッフ一人一人の個性を融合し、お客様の知的好奇心に寄り添うヴィレッジヴァンガードらしい売り場や企画の展開を通じて企業価値の向上に取り組んでまいります。

- ①店舗事業の強化及び収益拡大
- ②POPUP事業の強化及び収益拡大
- ③オンライン事業の強化及び収益拡大

また、各事業の売上構成比の変化により、高収益体制を目指してまいります。

以上により、2025年5月期の業績見通しにつきましては、売上高27,221百万円（前期比9.8%増）、営業利益253百万円（前期は915百万円の損失）、経常利益204百万円（前期は934百万円の損失）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,991	2,306
売掛金	1,589	1,519
商品	14,675	15,890
その他	462	481
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	20,714	20,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,082	1,053
その他（純額）	81	67
有形固定資産合計	1,163	1,121
無形固定資産		
ソフトウェア	240	208
ソフトウェア仮勘定	47	31
その他	1	1
無形固定資産合計	289	241
投資その他の資産		
長期前払費用	43	44
差入保証金	1,302	1,309
その他	1	2
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,347	1,355
固定資産合計	2,800	2,718
資産合計	23,514	22,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,212	4,147
短期借入金	153	160
1年内償還予定の社債	57	212
1年内返済予定の長期借入金	3,053	2,940
未払金	363	356
未払法人税等	16	48
未払消費税等	45	0
契約負債	43	18
株主優待引当金	28	24
賞与引当金	50	45
資産除去債務	3	—
その他	557	516
流動負債合計	7,585	8,470
固定負債		
社債	318	206
長期借入金	6,313	6,248
長期末払金	31	2
役員退職慰労引当金	418	436
退職給付に係る負債	156	144
資産除去債務	1,140	1,152
その他	53	30
固定負債合計	8,432	8,220
負債合計	16,017	16,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,330	2,330
資本剰余金	3,807	3,807
利益剰余金	1,383	118
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,521	6,257
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△12	△1
為替換算調整勘定	△28	△49
その他の包括利益累計額合計	△40	△50
新株予約権	16	15
純資産合計	7,496	6,222
負債純資産合計	23,514	22,913

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	25,282	24,799
売上原価	14,834	15,118
売上総利益	10,447	9,680
販売費及び一般管理費	10,301	10,595
営業利益又は営業損失(△)	146	△915
営業外収益		
仕入割引	28	27
業務受託料	103	107
協力金収入	0	—
その他	66	49
営業外収益合計	199	183
営業外費用		
支払利息	129	149
営業外支払手数料	37	39
その他	27	14
営業外費用合計	194	203
経常利益又は経常損失(△)	151	△934
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	26	26
減損損失	36	133
特別損失合計	62	160
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	89	△1,094
法人税、住民税及び事業税	63	58
法人税等調整額	1	△8
法人税等合計	65	49
当期純利益又は当期純損失(△)	23	△1,144
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	23	△1,144

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	23	△1,144
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△12	11
為替換算調整勘定	△13	△20
その他の包括利益合計	△26	△9
包括利益	△2	△1,154
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2	△1,154

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,330	3,807	1,479	△0	7,618
当期変動額					
剰余金の配当			△120		△120
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			23		23
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△96	—	△96
当期末残高	2,330	3,807	1,383	△0	7,521

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△14	△14	16	7,620
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					23
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△12	△13	△26	△0	△27
当期変動額合計	△12	△13	△26	△0	△123
当期末残高	△12	△28	△40	16	7,496

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,330	3,807	1,383	△0	7,521
当期変動額					
剰余金の配当			△120		△120
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△1,144		△1,144
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,264	—	△1,264
当期末残高	2,330	3,807	118	△0	6,257

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△12	△28	△40	16	7,496
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△1,144
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	11	△20	△9	△0	△9
当期変動額合計	11	△20	△9	△0	△1,274
当期末残高	△1	△49	△50	15	6,222

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	89	△1,094
減価償却費	291	280
固定資産除却損	26	26
減損損失	36	260
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	129	149
営業外支払手数料	37	39
売上債権の増減額(△は増加)	△22	66
棚卸資産の増減額(△は増加)	△106	△1,217
仕入債務の増減額(△は減少)	57	935
未払消費税等の増減額(△は減少)	△273	△97
その他	△28	△117
小計	239	△763
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△128	△153
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△165	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53	△936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130	△217
無形固定資産の取得による支出	△30	△80
差入保証金の差入による支出	△17	△65
差入保証金の回収による収入	72	54
その他	△53	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4	6
長期借入れによる収入	3,150	3,190
長期借入金の返済による支出	△3,969	△3,368
社債の発行による収入	210	100
社債の償還による支出	△30	△57
営業外支払手数料の支出	△37	△39
割賦債務の返済による支出	△70	△53
配当金の支払額	△120	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△863	△341
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,075	△1,684
現金及び現金同等物の期首残高	5,066	3,991
現金及び現金同等物の期末残高	3,991	2,306

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積りについての新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的な検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、業態の類似性・営業形態の共通性等を総合的に考慮し、「ヴィレッジヴァンガード」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する商品及びサービスの種類

「ヴィレッジヴァンガード」は、小売部門を担っており「ヴィレッジヴァンガード」、「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等をチェーン展開し、その運営を行っております。

「その他」は、比利緹卡（上海）商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDを対象としております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	25,282	—	25,282	—	25,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,282	—	25,282	—	25,282
セグメント利益又は損 失(△)	146	△0	146	—	146
セグメント資産	23,508	7	23,515	△1	23,514
その他の項目					
減価償却費	291	—	291	—	291
減損損失	36	—	36	—	36
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	164	—	164	—	164

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額△1百万円には、セグメント間債権債務の消去△9百万円及び貸倒引当金の消去8百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	24,799	—	24,799	—	24,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,799	—	24,799	—	24,799
セグメント損失 (△)	△914	△0	△915	—	△915
セグメント資産	22,907	7	22,915	△1	22,913
その他の項目					
減価償却費	277	—	277	—	277
減損損失	133	—	133	—	133
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	296	—	296	—	296

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額△1百万円には、セグメント間債権債務の消去△10百万円及び貸倒引当金の消去9百万円が含まれております。

2. セグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額	747円03銭	584円81銭
1株当たり当期純損失(△)	△12円26銭	△161円24銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	23	△1,144
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	120	120
(うち優先配当額 (百万円))	(120)	(120)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△96	△1,264
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,846,814	7,844,134
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	・新株予約権3種類(新株予約権の数390個)。	・新株予約権3種類(新株予約権の数387個)。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。